

牛の予防注射 プログラム

繁殖牛・子牛には、一例として以下のようなワクチンプログラムが推奨されています。最寄りの家畜保健衛生所等と相談し、適切な予防管理を行いましょう。



繁殖牛の予防注射

呼吸器病の予防

母牛の呼吸器病を予防し、産子に移行抗体を賦与する

ワクチン

牛5種混合(不活化)又は
牛6種混合

注射時期

6ヵ月～1年間隔で注射

産子の下痢予防

産子の大腸菌、ロタ・コロナウイルスによる下痢を予防

ワクチン

牛下痢5種混合(不活化)

注射時期

初回分娩牛…分娩1.5ヵ月前と
分娩0.5ヵ月前
次回以降…分娩0.5ヵ月前



子牛の予防注射

子牛の呼吸器病・嫌気性菌感染症の予防

初回

ワクチン

牛5種混合(生)
又は
牛6種混合(生)
⊕
牛嫌気性菌5種

注射時期

生後5ヵ月齢まで
※移行抗体の保有状況により、牛呼吸器病の初回の注射月齢は異なりますので、獣医師に相談してください

2回目

ワクチン

牛5種混合(不活化)
又は
牛6種混合
⊕
牛嫌気性菌5種

注射時期

初回から6ヵ月後

3回目

ワクチン

牛5種混合(不活化)
又は
牛6種混合
⊕
牛嫌気性菌5種

注射時期

2回目から
6ヵ月～1年後